

尖閣諸島は日本の領土

志位委員長が中国大使に申し入れ



21日、中国大使館

どんな理由であれ 暴力による批判は許されない

志位和夫委員長(写真左)は、中国の程永華大使に、「外交交渉による尖閣諸島問題の解決を」という日本共産党の提言を手渡し、尖閣諸島について「日本の領有は歴史的にも、国際法上も正当」と主張。「日中双方が、物理的対応の強化や軍事的対応論をきびしく自制することが必要」「在中国邦人、企業、大使館の安全確保に万全の措置を」と提起しました。

領土交渉を
避けるな

外交交渉による 問題解決を日本政府に提言

日本共産党

「領土問題など存在しない」として、中国とまともな領土交渉をしたことがない日本政府。外交不在のその姿勢では、問題解決はできません。

「領土問題存在せず」は一見「強い」ように見えて、実は日本の立場を主張できず、中国への反論もできなくしている。その立場をあらため、外交交渉によって日本の尖閣領有の正当性を堂々と主張すべき——志位委員長の申し入れ(20日)に、官房長官も「検討していきたい」と応じました。



尖閣諸島

申し入れ全文は党ホームページから



2012年9・10月号外

発行●日本共産党中央委員会

〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

☎03-3403-6111 FAX03-5474-8358

領土問題を詳しく伝える「しんぶん赤旗」をぜひお読みください

購読
申込書

印をおつけください ● 日刊 月3400円 ● 日曜版 月800円

お名前

住所 〒

☎

お申し込みは、お近くの党事務所または党員か、左記まで。ホームページからも申し込みます。